

学ぶ意欲をもち、自他を大切にする子どもを育てる

エビデンスを重視した取組の焦点化

重点項目Ⅱ

児童の学力向上

授業づくり(指導法の研究)

指導と 評価の一体化

こまめな指導改善の
ための評価
(見取り)

重点教科**算数**
躓きを減らし、
達成感につなげる

全教員

研究授業

わかる・できる
授業へ

家庭学習と 授業の接続

「明日の授業への意欲」
予習⇒授業⇒復習
サイクルの確立

児童間の 学び合い

聞き合い、伝え合う
活動を通して深める
(少人数で)

基礎・基本の定着(学力向上)

- ・週3日以上計算タイム
→ 曜日ごとにプリントを変える
(月5枚プリント準備)
- ・月に1回確認テスト
(5枚のプリントから出題)

重点項目Ⅰ

遅刻・不登校児童の減少

チーム体制での支援

1次

担任・学年チームの支援

電話連絡・家庭訪問による
児童家庭との連携の継続

1次支援は常時対応

2次

学校全体での支援

保健室・SC・ステップルーム

3次

外部機関との連携・支援

SSW・スクⅡ・区役所 等

学年支援
管理職

チーム学校で見守り強化

児童に関するデータの活用

心の天気・相談機能・登校状況による児童把握
(新版)生活アンケートによる学級分析
hyper-QUによる学級診断(6年生)

重点項目Ⅲ

児童を取り巻く教育環境の充実

ICTの有用性を生かす

教育ビッグデータの有効活用
個別最適化 校務の効率化

生活科・総合的な学習

南津守地域に根差した教育課程
発信拠点となり、地域文化を創る

しなやかな組織づくり

専科指導による担任の授業負担減
バーンアウトを防ぐ組織風土づくり
タイムマネジメント 閉庁時間の設定

特別支援教育の専門性

人権尊重の組織づくり

チームの協働性